

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

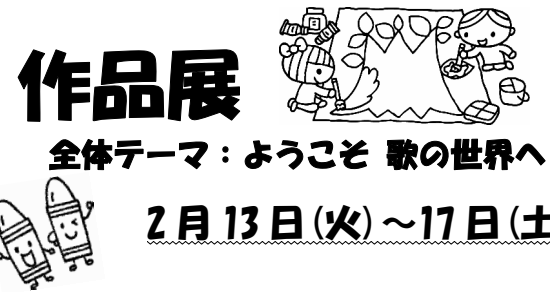
しらさぎ保育園創設者 宮崎のぶ子先生の想いと共に  
園長 秋保めぐみ

しらさぎ保育園の創設者であり、前園長である宮崎のぶ子先生が去る1月10日に他界いたしました。くしくも創立50周年の年の旅立ちでした。

創設以来、薄着や裸足保育を實行し、クラシックやピアノが流れ常に音楽のある環境を整え、食育や体育を通して体作りをする等、子ども達のより良い育ちを考えてこられました。そして“子どもは大人を見て育つ”ので、まずは大人(保育士や保護者)が、社会のルールを守る、遅刻をしない等の見本を見せるべきだという考えのもと、大人育てにも力を注いでおられました。在りし日ののぶ子先生の立派な姿勢を決して忘れません。のぶ子先生が50年前に掲げた「やさしいところとつよいからだ」という目標は、古びることなく50年たった今の子ども達にも必要な言葉であると強く感じます。後を継ぐ者として、「やさしいところとつよいからだ」と「食育・体育・美育」という3本柱を土台とし、さらに「やってみよう、もうちょっと、できた!」の経験を繰り返しながら子ども達が自分に自信を持った強い人間に育ち、社会を生き抜いていけるように力を尽くしてまいります。次の10年を目指して。

❁ 2月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	自分でやってみよう	スプーンですくって食べたり、ズボンの着脱にチャレンジしたり、保育者が手助けをしながらやる気を引き出していく。
1才児	楽しいリズムあそび	音に合わせて歌ったり楽器を鳴らしたり、全身でリズムを感じる。音楽がきこえると気分はノリノリで楽しい。
2才児	あいさつしよう	「おはようございます」「さようなら」と自分からあいさつをする。「ありがとう」の気持ちや「ごめんね」と素直に言うことを教えていく。
3才児	今、何時?	時計カードを見て時間を覚えたり、日付を確認したりする中で数字への興味が高まる。遊びの中で数字を覚えていく。
4才児	はずむ会話	自分の思っていること、経験したことを話し相手に伝える。また、相手の話を目を見て聞く習慣をつける。
5才児	小学校に向けて	登降園の準備やロッカーの整理整頓など自分のことは自分でする習慣をつける。やっていいこと、悪いことを考え判断し、危険を回避する行動ができるようになる。



全体テーマ：ようこそ 歌の世界へ

2月13日(火)～17日(土)

もも組(1才児)「乗り物の歌」

「はたらくくるま」と「汽車」の歌をイメージして作りました。パトカー、救急車、消防車、ショベルカーをタンポや筆で絵の具を塗ったり、折り紙をやぶいて貼ったりして作りました。こんなに大きな作品に取り組んだのは初めてでしたが、「ぬりぬり」と言いながら根気よく楽しく塗っていました。「汽車」はストローやレース、キラキラな星等を自由に貼り付けると個性が出てかわいい作品になりました。汽車に乗っているみんなの写真のポーズや表情がステキです。お楽しみに!

すみれ組(3才児)「ドレミのうた」

歌の中に出てくるドーナツやレモン、ラップを立体で作りました。紙粘土での製作にも挑戦。「ドレミのうた」の文字を花紙を使ってみんなで飾る等、普段はあまり使わない素材を使って製作をすると新鮮で興味が湧き、熱心に取り組んでくれました。「ドレミのうた」を口ずさみながら作っていました。楽しい歌の世界を表現します。

❁ 2月のプラン

- 1日(木) 交通安全教室(ゆり組)
- 1日(木) } 弁当日
- 15日(木) }
- 2日(金) 節分(豆まき)
- 6日(火) 観劇会(2才児以上)
- 7日(水) 防災訓練(地震)
- 13日(火)～17日(土) 作品展(全クラス)
- 17日(土) 保育参観(全クラス)
- クラス別懇談会(全クラス)
- 20日(火) 誕生会

<14日(水) カンガルー広場(園庭開放)>

たんぽぽ組(0才児)「おもちゃのチャチャチャ」

スタンプング、シール貼り、手型やビー玉転がし等赤ちゃんが出来そうな技法を選んで作品を作りました。ビー玉転がしは箱の中に絵の具のついたビー玉を落として転がします。みんな不思議そうにビー玉を目で追っていました。作品展をめざして色々な経験をすることがお子さんの成長に繋がっていきます。

さくら組(2才児)「くじらのとけい」

個人製作でイルカ、人、カモメを作りました。目、鼻、口のパーツを貼ると様々な表情ができ、作った本人にちよっぴり似ていてかわいい作品が出来ました。共同製作では、大きなくじら、とけい、海を作りました。みんなが大好きな歌なのでイメージがしやすかったようです。廃材を使ったり、タンポでスタンプングをしたりと色々なことに挑戦。製作の時に困っている友だちに教えるやさしい一面も見られました。どんな海の世界ができるか楽しみです。

ばら組(4才児)「あめふりくまのこ」

雨といえば少し暗くなりがちなテーマですが、元気なばら組らしくカラフルな作品になりました。絵の具をたっぷり使い、スパッタリングやマーブリング、重ね塗りなどの技法を楽しみました。男の子は作品の中心となる「大きな木」を作りました。根気のいる作業でしたが最後までやり遂げ、やんちゃな男の子たちの成長を感じました。女の子は「くまさん」を作りました。少し出来る度に「かわいい～♥」と大絶賛。ばら組の女の子らしい製作風景でした。みんなで表現した“あめふりくまのこ”をお楽しみください。

ゆり組(5才児)「思い出のアルバム」

春・夏・秋・冬の場面を製作しました。紙粘土を使っの立体製作や、書道にもチャレンジ。どれも1日ですぐに完成するものではなく、根気のいる作業で努力をして作りあげる過程を大切にしたい作品ばかりです。みんなの思いがいっぱい詰まった保育園最後の作品展を親子、ご夫婦で思い出を話しながら見て頂ければうれしいです。

<編集後記>

2月3日は節分。私がまだ小さかった頃、鬼に扮した父に向かって豆を投げ、家族で豆まきをした楽しい思い出があります。保育園でも全クラス一緒に豆まきをし、すみれ、ばら、ゆり組は自分でのりに酢飯や具のせて手巻き寿司を作って食べます。鬼も登場して泣いたり笑ったり、楽しい一日になりそうで楽しみです。(保田)

<今月の担当：安食・保田・蔵元・植村>